

# すくし 議会だより

No.75

編集 議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

9月定例会のあらまし…2～6

決算報告 町当局に4項目の意見を提言…7

決算特別委員会

事業成果を徹底チェック…8～13

町の考えを問う

一般質問 4議員が登壇…14～17

特集 奥産道をふたたび考える…18

常任委員会の活動報告…19～21

皆さんからのご意見/ふるさとへの便り 41…22～23



# 9月定例会のあらまし



平成 21 年度決算の審査が行われた 9 月議会

## 医療費給付を父子家庭にも拡大

平成22年第4回定例会は、9月3日から9月14日までの12日間の会期で行われました。

本定例会では認定案件が12件、条例の一部改正案件が1件、補正予算案件が7件、承認案件が1件、議決を求める案件が3件、同意案件が1件あり、これらの計25件の案件は全て原案どおり可決・同意しました。

そのほかに、報告案件が2件と請願3件があり、請願2件は採択、1件は一部採択とし、これを受け発議によりそれぞれ意見書を国および県に提出しました。

一般質問には4名が登壇し、「少子高齢化に対応した地域づくり」、「森林ナラ枯れ対策」、「第三セクターの経営」、「国保問題」等について町当局の考えをたしました。

### 条例の一部改正

○**雫石町母子家庭医療費給付条例等の一部改正について**  
(全員賛成⇒可決)

母子家庭医療費給付事業について、対象者を父子家庭まで拡大し、「ひとり親家庭」に対して医療費を助成するために改正。

### 専決処分

○**雫石町一般会計補正予算（第3号）の専決処分に関し承認を求めることについて**（全員賛成⇒承認）

| 補正前の額        | 補正額     | 計            |
|--------------|---------|--------------|
| 79億4,665万8千円 | 287万6千円 | 79億4,953万4千円 |

- ▶林道施設災害測量設計業務委託料 220万5千円
- ▶災害応急復旧工事（増） 67万1千円

○**損害賠償の額を定める専決処分の報告について**

御明神堂前地内で発生した、町職員が関係した交通事故による自動車の損害賠償の額について報告を受けた。

## 一般会計補正予算

○栗石町一般会計補正予算（第4号）（全員賛成⇒可決）

| 補正前の額        | 補正額         | 計          |
|--------------|-------------|------------|
| 79億4,953万4千円 | 2億3,059万6千円 | 81億8,013万円 |

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| ▶財政調整基金積立金        | 7,592万6千円 |
| ▶病児・病後児保育施設整備工事   | 3,277万1千円 |
| ▶林道施設災害復旧工事       | 1,711万7千円 |
| ▶浄化槽設置整備事業費補助金（増） | 1,298万7千円 |
| ▶町内共通買物券事業費補助金    | 1,138万0千円 |

## 主な質疑

**問** 役場庁舎の空調設備改修工事の内容は。

**答** 当初の空調設備は議場、201号会議室、町長室とごく一部に限られていた。その後に室外機を設置してクーラーを取り付けた箇所もあるが、建設当時の物は設備が大分傷んできた。現在設置されていない箇所に、1階から3階まで全館に空調設備、クーラー設備を設置したい考えであり、電気設備を含めて全体の経費的な部分を考えながら、どうすればよいかを委託したい。

**問** いよいよ病児・病後児保育が始まるが、預ける側と預かる側にトラブルが起きないように運営上対策は万全か。施設整備の完了はいつごろか。

**答** その内容について、七ツ森保育所の理事長と協議中である。職員としては看護師、保育師、調理師の配置を予定しており、工事は年度内の2月に完成予定。

**問** 旭台のため池工事に關し補正予算が出ているが、内容に変更があったのか。また、鶯宿温泉開発株式会社運営費補助金の内容は何か。

**答** 排水路に関連ある立木を伐採する経費であり、工事内容に変更はない。運営費補助金は温泉使用料の減少が止まらず会社運営が厳しいという状況から緊急支援として助成する。



老朽化による漏水があった旭台のため池

## 平成21年度歳入・歳出決算額

| 区 分                | 歳入決算額      | 歳出決算額      | 採決状況      |
|--------------------|------------|------------|-----------|
| 一般会計               | 86億8,949万円 | 85億876万円   | 賛16、反2⇒認定 |
| 国民健康保険特別会計         | 21億74万円    | 20億3,380万円 | 賛17、反1⇒認定 |
| 老人保健特別会計           | 762万円      | 573万円      | 全員賛成⇒認定   |
| 御明神財産区特別会計         | 622万円      | 615万円      | 賛15、反3⇒認定 |
| 下水道事業特別会計          | 11億2,352万円 | 11億2,017万円 | 賛17、反1⇒認定 |
| 農業集落排水事業特別会計       | 1億6,370万円  | 1億6,197万円  | 全員賛成⇒認定   |
| 簡易水道事業特別会計         | 3,915万円    | 3,709万円    | 全員賛成⇒認定   |
| 介護保険事業勘定特別会計       | 11億9,942万円 | 11億6,615万円 | 賛17、反1⇒認定 |
| 介護保険介護サービス事業勘定特別会計 | 1,075万円    | 1,067万円    | 賛17、反1⇒認定 |
| 栗石町立栗石診療所特別会計      | 11億9,475万円 | 11億8,950万円 | 全員賛成⇒認定   |
| 後期高齢者医療特別会計        | 1億2,090万円  | 1億2,072万円  | 賛17、反1⇒認定 |
| 水道事業会計             | 収益的収支      | 3億1,633万円  | 全員賛成⇒認定   |
|                    | 資本的収支      | 1億2,946万円  |           |
|                    |            | 2億4,362万円  |           |

決算特別委員会の設置

委員長 猿子 恵久  
副委員長 上野三四二

●会計を  
決算  
委員会  
付託

本会議

委員会の  
審査報告

賛成反対  
討論

採決

**問** 合併浄化槽は、町単独分も含め7割までかさ上げ補助し促進を図ってきた。町民の取り組み状況はどうか。さらに補助申請があった場合、追加でできるのか。

**答** 13基分の当初予算であったが、7月の頭には申込みで満杯になった。現在、16件の問い合わせがあり、今回9月補正で19基を計上した。新築工事よりも、改築工事が圧倒的に多い。国、県の補助金も入っており、今回の分で限度である。

**問** 富士市、雫石町物産交流事業は、どこに委託してどのような交流をするのか。

**答** 富士市との交流は小学校の子どもたちが交互に交流しているが、もう少しその輪を広めて産業部門や物産部門でも交流を推進したらどうかということになった。軽トラ市にも富士市からお茶の販売があった。当町も富士市に物産をPRしたいということで(株)しずくいしに委託し、東名高速の富士川楽座ふれあい地場産品市で試験的に販売を行なう。



軽トラ市にPRに訪れた富士の茶娘

**問** 後継者出会い応援事業は、今までの事業と比べ、さらに効果があることから、実施しようとしていることなのか。年に何回を想定しているか。農業委員会長の思い入れは。

**答** 今までは盛岡のあんしん友の会等に、「おんぶにだっこ」という感じであった。今回新たに、農業委員会独自での事業展開で年2回行いたい。一組でもカップルが誕生して欲しいと思っている。

**問** マスコミ等の情報では、これから集中的なゲリラ豪雨が非常に多くなると言われている。生活用道路、あるいは住宅で冠水する箇所が以前はあったが、今後、常襲地帯等への対策はあるか。

**答** 確認しているので、単独費で補修対応をしたい。

## 特別会計補正予算

○雫石町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（賛17、反1 ⇒可決）

| 補正前の額        | 補正額       | 計            |
|--------------|-----------|--------------|
| 19億7,610万9千円 | 1,453万6千円 | 19億9,064万5千円 |

- ▶国保財政調整基金積立金 548万5千円
- ▶退職被保険者等高額療養費（増） 400万0千円
- ▶国保連合会システム機器整備等負担金 290万0千円

○雫石町老人保健特別会計補正予算（第1号）（全員賛成⇒可決）

| 補正前の額  | 補正額     | 計       |
|--------|---------|---------|
| 60万3千円 | 162万9千円 | 223万2千円 |

- ▶支払基金交付金返還金（増） 96万2千円
- ▶国庫支出金返還金 53万3千円
- ▶県支出金返還金 13万4千円

○雫石町下水道事業特別会計補正予算（第2号）（全員賛成⇒可決）

| 補正前の額       | 補正額    | 計         |
|-------------|--------|-----------|
| 8億4,953万3千円 | 73万7千円 | 8億5,027万円 |

- ▶低地対策ポンプ施設設置工事費補助金 73万7千円

○雫石町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）（全員賛成⇒可決）

| 補正前の額     | 補正額     | 計         |
|-----------|---------|-----------|
| 3,046万2千円 | 148万9千円 | 3,195万1千円 |

- ▶橋場浄水場急速ろ過機取替工事 148万9千円

○雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）  
（全員賛成⇒可決）

| 補正前の額        | 補正額       | 計            |
|--------------|-----------|--------------|
| 12億1,609万6千円 | 1,744万1千円 | 12億3,353万7千円 |

- ▶高額医療合算介護サービス費負担金 900万0千円  
▶介護給付費等負担金精算返還金（増） 720万5千円

○雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第1号）（全員賛成⇒可決）

| 補正前の額     | 補正額    | 計         |
|-----------|--------|-----------|
| 1,063万2千円 | 43万3千円 | 1,106万5千円 |

- ▶デイサービスセンター浄化槽排水ポンプ交換工事 23万3千円

## 報 告

○平成21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

※13ページ参照

## 人 事

○教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて（全員賛成⇒同意）

平成22年9月30日をもって教育委員の任期満了となる沼尻洋一氏の再任に同意した。



氏名 沼尻洋一氏  
（71歳・黒沢行政区在住）  
任期 平成22年10月1日～平成26年9月30日

## 発 議

○発議第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について（全員賛成⇒可決）

昨年行なわれた総選挙の際の各党のマニフェストや政策集に位置づけている、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元することを求めるものです。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣

○発議第2号 私学教育の充実・発展を求める意見書の提出について（全員賛成⇒可決）

私立高校に対する、私学助成金を更に充実させることを求めるものです。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、岩手県知事

○発議第3号 過剰米対策に関する意見書の提出について（全員賛成⇒可決）

米個別所得補償制度の安定運営のため、緊急の対策として政府買い入れによる相当量の棚上げ備蓄を実施し、市場の過剰感を一掃すること。

需給と価格の安定を図るという食糧法の規定に基づき、過剰米を国が責任をもって市場隔離する需給調整対策を恒久的な制度として確立・実施することを求めるものです。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

## どうなりました 皆さんの請願・陳情

○請願第4号 30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請の請願（一部採択）

提出者＝岩手県教職員組合岩手支部  
支部長 千葉 茂之

○請願第5号 私学教育を充実・発展させるための請願（採択）

提出者＝私学助成をすすめる岩手の会  
会長 新妻 二男

○請願第6号 過剰米対策に関する請願（採択）

提出者＝新岩手農業協同組合  
代表理事組合長 田沼 征彦



## 請負契約

○雫石町高速情報通信基盤整備工事（第1工区）の請負契約の締結に関し議決を求めることについて（全員賛成⇒可決）

光ファイバー敷設延長14万1,694 mで、雫石局692局を工事範囲とするものです。

工 期 平成23年3月10日  
 契約金額 3億6,225万円  
 請 負 者 盛岡市本町通3丁目20番6号  
 北日本通信株式会社  
 代表取締役 阿部 昭典

○雫石町高速情報通信基盤整備工事(第2工区)の請負契約の締結に関し議決を求めることについて(全員賛成⇒可決)

光ファイバー敷設延長11万7,997 mで、局舎施設1箇所、西山局693局、鶯宿局695局を工事範囲とするものです。

工 期 平成23年3月10日  
 契約金額 3億240万円  
 請 負 者 盛岡市中央通1丁目2番2号  
 株式会社NTT東日本ー岩手  
 代表取締役 田辺 博

## 光ブロードバンド整備に関する主な質疑

問 繰越明許費の事業が、どうして今のように発注が遅れたのか。

答 21年度予算が22年度に繰り越しての事業になったのは、国からの補助金指令が今年の3月25日にあったことによる。5月に設計業務を発注し、7月末には設計が上がってきたが、入札するには縦覧期間をとらなければならない関係で本日に至った。

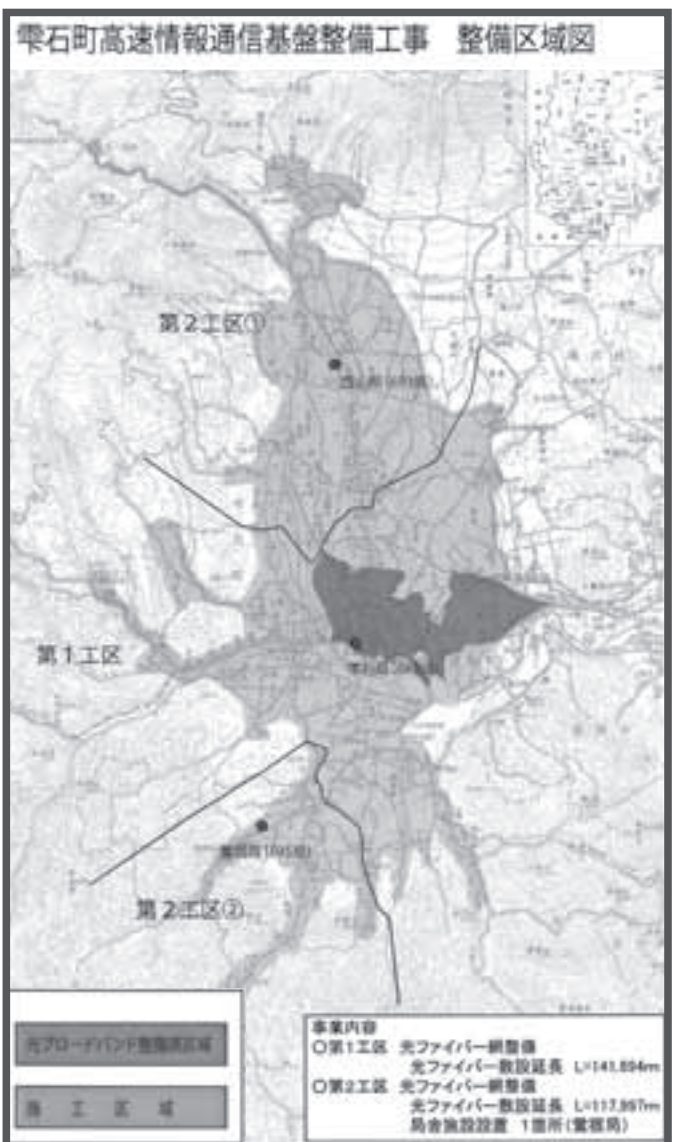
問 施設のメンテナンスは町がやるという話であるが、この設備を賃貸するのか。どういう形でNTT等の通信会社に貸し出すのか。あるいは貸与するのか。

答 IRU\*契約によって、通信事業者との間でケーブルを町が貸し出す形になる。町はその管理については貸し出し先に委託する形での管理になる。

\*IRU…関係当事者すべての合意がない限り、破棄したり終了させることができない永続的な使用权

問 これらの財源、いわゆる自主財源の比率を伺いたい。また、すでにNTTで光ブロードバンドを整備済み区域の保守管理はNTTが独自にやるのか。

答 国のICT交付金（地域情報通信基盤整備推進事業）に係る部分が2億5,800万円ほど、公共投資臨時交付金を4億6,400万円ほど、残り5,200万円ほどは起債を予定している。現在NTTがサービス提供している部分については、町は全く関与しない。



## お知らせ

来年4月から光通信のインターネットが町全域で利用できるようになります。

# 町当局に4項目の意見を提言

意見

1

農産物認証制度は認定シールを含め、買ってみたい、食べてみたいというイメージを駆り立てるようなネーミングを付け

て展開をしては。他市の例としては、佐渡の「生き物を育む農法」「トキと暮らす郷づくり認証米」などがある。



意見

2

エレベーターの無い定住促進住宅は、5階家賃を安くして入居率を上げれば、全体の入居率も上がるのでは。



意見

3

街路灯をLED電球にして電気料金低減を図って



意見

4

小学校も少子化が進み、他校のクラブに参加せざるを得ない状況もある。放課後児童クラブに登録している児童が必要なときは、ほかのクラブを利用できるよう検討すべきではないか。



※LED照明…照明用途として注目されている発光ダイオードと呼ばれる半導体。白熱電球や蛍光灯と比べて消費電力が非常に少なく、同じ明るさの蛍光灯と比べた場合、寿命も長く理論的には消費電力は約半分になると言われているが、まだ価格は高い。

## 監査意見



本会議で監査意見を述べる枇杷恵監査委員

監査委員による決算審査は、公営企業会計は6月28日、一般会計ならびに各特別会計、基金運用状況、財産調書は7月20日から8月5日まで行われました。本会議で報告された監査意見書の中から、一般会計について内容を要約してお知らせします。

### 決算監査意見書

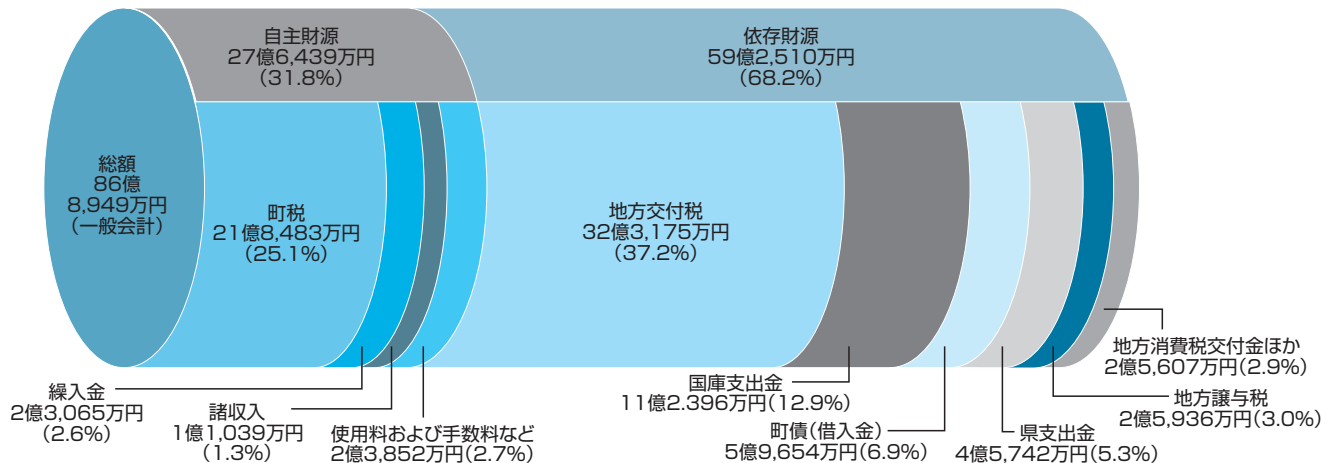
一般会計における歳入については、町税を主とする自主財源は31.8%を占め、前年度と比較し5.4%減少している。自主財源における減少要因の主なものは町税9,066万円の減である。自主財源は自治体の自主性、

自立性を表すものであり、今後ともその確保に努められたい。また、収入未済額は前年度より増加していることから、早期に実態を把握し、適切な処置のもとに収入の確保に努力されたい。

行政に対する住民の要望は多様化しつつあり、財政的には依然として厳しい運営が続くものと推察する。しかしながら、住民の福祉の増進は行政の基本的課題でもあることから、限られた財源を有効かつ効果的に運用し、各事務事業等について常に点検しながら事務遂行されることを望むものである。

# 数字で見る決算 一般会計

## 歳入の内訳



## 歳入・総務費

**問** 約9,000万円の町税が減額になっているが、その内訳を説明願いたい。

**答** 主に個人住民税2,787万円、法人町民税3,345万円、固定資産税3,771万円、たばこ税517万円、入湯税150万円が減額になっている。

**問** 税金の収納率100%が目標であるが、当町は92%である。県内で何番目の位置にあるか。

**答** 34市町村の中で、22番目である。

**問** 悪質な滞納者もいると思われるが、滞納額が固定資産税で6,000万円以上ある。差し押さえなど財産処分を検討しているのか。

**答** 長期滞納、高額滞納、悪質な滞納者に対しては毅然とした態度で滞納処分に当たっている。21年中にも不動産を差し押さえ、納税者と完納に向け交渉してきたが、納付にいたらず11月に公売を計画している。

**問** 庁舎清掃業務委託料、庁舎警備業務委託料はトータルで昨年より約81万円の増になっているが、業務内容が変わったのか。

**答** 業務内容の変更はないが、数社を指名して見積り合わせを実施した結果である。

**問** 当町の第三セクター(株)しずくいしのワサビ等の生産原価報告書の中で、材料費の材料仕入れ高に1,500万円とあるが、ワサビ栽培は苗の仕入れ、人件費、光熱水費など生産費に相当するものか。

**答** ほかの原価も入っており、主なものはワサビ75万2千円、精肉が1,290万円、菜種が126万円である。

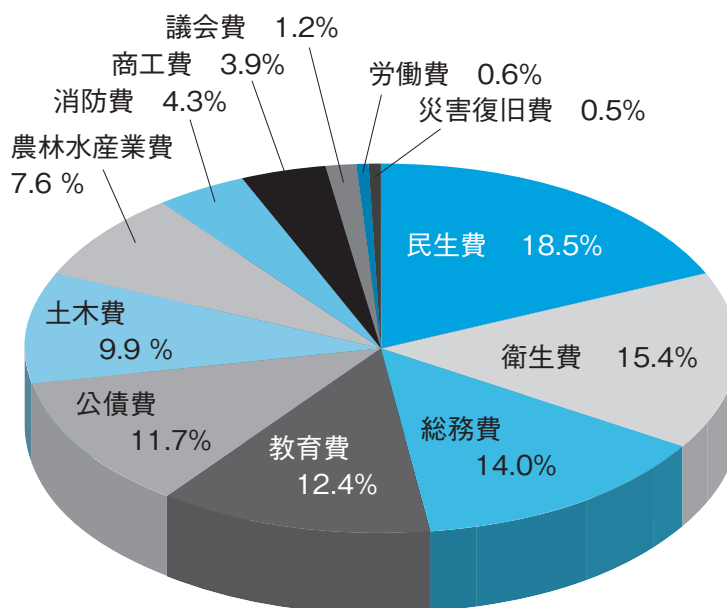


(株)しずくいしが経営するワサビの栽培施設



## 歳出の内訳

| 区分     | 平成 21 年度      |
|--------|---------------|
| 議会費    | 1 億 501 万円    |
| 総務費    | 11 億 9,272 万円 |
| 民生費    | 15 億 7,420 万円 |
| 衛生費    | 13 億 972 万円   |
| 労働費    | 5,193 万円      |
| 農林水産業費 | 6 億 5,083 万円  |
| 商工費    | 3 億 3,046 万円  |
| 土木費    | 8 億 4,230 万円  |
| 消防費    | 3 億 6,463 万円  |
| 教育費    | 10 億 5,475 万円 |
| 災害復旧費  | 3,927 万円      |
| 公債費    | 9 億 9,294 万円  |
| 計      | 85 億 876 万円   |



**問** 税金の過誤納付金の還付が1,600万円あるが、その内容は。

**答** 主に法人が行った予定納税に対する法人町民税の還付や納税者が誤って納めたものである。

**問** 花巻空港に係る空港利用促進協議会に、町も負担金を払っている。秋田空港に比べてチャーター便の乗り入れが少なく危惧しているが、町長の今後の考えは。

**答** 韓国からのチャーター便の話もあったがマンパワー不足で実現しなかった。チャーター便で外国の観光客を受け入れることは時代の流れで当然のことである。現在は協議会でもチャーター便の就航に向けて努力しているとのことであるので、町としても色々なアイデアを出しながら県と交渉していきたい。

## 衛生費・民生費

**問** 民生委員の仕事が複雑化、増加しており後継者が見つからないとの話を聞くが、地域ぐるみで支援していくべきでないか。

**答** 地域コミュニティ形成推進事業の中に地域福祉の推進という事業（見守り隊）もあるので、各コミュニティで取り組まれ、民生委員や児童委員をいくらかでも地区民の方々に支えてもらいながら活動できるような状況にしていきたい。

**問** 西山地区に不法投棄された物をどのように処理しようとしているのか。

**答** 原因者は分かっているが、さまざまな理由で撤去させることは不可能だと思っている。県所管に係る産業廃棄物なので、県に代執行等をお願いしたいと思っているが、県は原因者がいるのに、なぜ代執行しなければならないのかという状況にある。このまま放置してはいけないので、何とか解決策を見いだしていきたい。

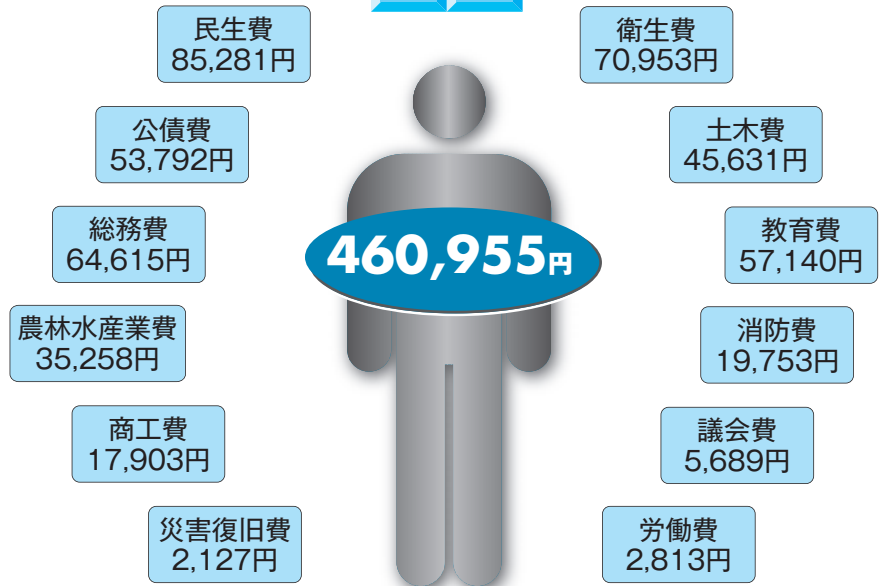
## 町民一人あたりの金額

平成22年3月末  
人口18,459人で試算

### ワンポイント解説

民生費…主に高齢者、障害者、子どもの福祉に使うお金  
公債費…町債（借金）返済に充てる経費  
商工費…町内の商工業の支援や観光振興などに使うお金  
災害復旧費…昨年発生した災害の復旧作業に使うお金  
労働費…雇用対策や勤労者の支援に使うお金  
衛生費…ごみ処理や母子保健、検診などに使うお金

## 歳出



**問** ひとり暮らし高齢者などが増加し、町の対応も大変になると思うが、健康センターのオープンに合わせて支援体制をどう充実させていくか。

**答** 保健（保健センター）・医療（雫石診療所）・福祉（地域包括支援センター）の連携が十分にできるようになった。高齢者の福祉や介護の部分では、地域包括支援センターのスタッフを充実（ケアマネージャー2人、社会福祉士、保健師の体制）しているほか、保健センターのスタッフとも一緒にさまざまな連携ができるので、今の体制で十分対応できると考えている。高齢者に関する相談窓口として何でも受け付けるので、気軽に利用してほしい。



健康センター内に設置された地域包括支援センター

**問** 公葬地（墓地）に関係者が自前で上水道を引いているところでは、水道料金を大変苦勞して徴収している。この水道を町に寄附採納して、町で管理してもらうことはできないか。

**答** 公葬地の管理形態はそれぞれ違うので、現時点ではそれぞれの地域で管理してもらうのが基本だと思っている。今後、管理の方法について大きな課題となってくると思うので、検討課題とさせていただきたい。

## 農林水産業費

**問** 耕作放棄地は、公表と実態面積に乖離があるのでは、また、その活用策は。

**答** 農水省ガイドラインに沿った面積は、20年度で5.9ha、実態は水田80ha、畑71haである。関係者と現場を見ながら再生の方向を探って行きたい。

**問** 米価下落対策で、昔のような米価闘争がなくなり関係者の運動も見られないように感じるが、農業委員会はそのような運動をしないのか。国への働きかけを望む。

**答** 農業委員会はそのような組織ではない。JAや農家のリーダー等の声を反映させるよう取り組んでいく。



## 商工費

**問** 街路灯整備事業費補助金は街路灯組合の電気料金補助1/2、街路灯新設・更新補助1/2で、21年度決算は265万4千円、34団体であるが、電気料金の補助率アップ、街路灯から防犯灯への切り替えなどの方針が必要では。

**答** 多少時間にかかるが、補助率アップ、街路灯・防犯等への認定見直し等を図っていきたい。

**問** まちおこしセンター（しずく館）の評判がすごく悪い。改善策が必要では。

**答** 利用者のサービス、設置目的に合致する運営をさらに検討しながら進めている。



にぎやかさが欲しいまちおこしセンター

**問** 川井林業の低周波音については、専門家による調査をしたと言うが、その結果は。また、地元と共存共栄を図っていかなければならないと考えるが、防音壁を設置するのであれば早めに設置するよう指導をするべきではないか。

**答** 専門家の調査で基準値以内だからいいというのではなく、専門業者の指導を得ながら対策措置を進めている段階である。

## 土木費

**問** 町営新高前田住宅のお年寄りたちが、居住者以外の者に嫌がらせを受け、怖くて外に出られないと訴えている。以前のような平穏な住宅を懇願している。

**答** 警察や関係団体と連携をとりながら万全に管理できるように一層努力する。

（後日、議長、産業建設委員長が雫石交番に向きパトロール強化等さらなる協力依頼をした。）

**問** 住宅リフォームの補助金はいつまで続けるか。

**答** 地元の経済活性化の意味合いもあるので、平成25年3月31日までは実施予定である。

## 教育費

**問** スクールガードの人数が足りず、老人クラブに子ども見守り活動の要請があったそうだが、老人クラブでは対応が難しくなっている。スクールガードをもっと増員できないか。

**答** スクールガードは、各小学校単位で5名から10名のボランティアを委嘱して児童の見守りをお願いしている。また、防犯交通安全協会の青色パトロールとは別に各学区を車でパトロールする方を委嘱して活動してもらっている。

このほかに、コミュニティ事業の中に子ども見守り活動といった事業があるので、老人クラブ等に活動していただいている部分もある。スクールガードは学校から推薦をしてもらい委嘱しているが、増員することは当然検討できる。



スクールガードのパトロールを受けながら歩道を通学する児童たち

**問** 町営野球場を各種大会にもっと使用してもらうためには、スコアボードを電光掲示板方式にしなければならないのではないかと。

**答** バックスクリーン、スコアボードは、大変老朽化している。来年度、電光掲示板等を改修することを検討している。



来年は電光掲示板で試合ができるかも

**問** 県教育委員会の高校再編計画策定への取り組み状況は、どこまで進んでいるのか。また、雫石高校の頑張っている点を、中学校の生徒や保護者にもっと周知する取り組みが必要ではないかと。

**答** 9ブロックごとに、今後の県立高校に関する第1回地域検討会議が開催され、各市町村長等が出席した。今後は、地域の方々との第1回地域懇談会が開催されるので、意見を述べてもらいたい。また、雫石高校の魅力を高めながら、町民の方々と一緒になって存続に向けて頑張っていきたい。

## 特別会計

**問** 同じ行政区内に、水道が入っていないため農業集落排水を利用していない世帯が3世帯あるが、何らかの方法で水道を入れられないかと。

**答** 農業集落排水も公共下水道も、自家水道で利用できる施設である。その3世帯は、自分で給水管を引いていただくことになるので、共同で敷設していただきたい。しかし、地下水もなく、上水道を引くにも距離があり過ぎるなどのケースの場合には、距離に応じて助成措置を講じるなど、検討させていただきたい。

**問** 介護保険の利用率はどのようになっているか。利用料が高くて、低所得者は利用できないでいる実態もあるが、もっと利用できるようにできないか。

**答** 介護認定者は746名で、介護サービス利用者は716名、78.6%の利用率となっている。

当町の介護保険料は本県で一番安いと、利用料は国の基準に基づいて設定されているため、町独自で利用料を軽減するなどの措置するのは大変厳しい。まだ制度をよく知らない方もおり、病院だけに通院している方もいるが、今年8月から地域包括支援センターが健康センターに移り、高齢者の総合相談所としての機能の充実が図られたので、利用率も上がってくるものと考えている。

## 総括質問

**問** 町政のスタッフである職員のレベルアップのため、近隣市町村等の一般質問や決算審査などを傍聴させてはどうか。

また、米の販売対策等について議会の調査研修に同行し、共通認識を持って一つの方向に進んでいくようにしてはどうか。

**答** 議会の傍聴については、近隣市町村等も当町と同時期に行われているので、当町の議会对応（資料作成も含む）のため難しいが、簡潔で分かりやすい答弁等の勉強をし、管理職職員がレベルアップすることは大変良いことなので、参考としたい。

また、議会の調査研修事項には行政側と共通課題も多いので、帯同させてさせたい。議会のシステムの中で位置づけてもらえれば、職員の旅費等を措置するなど十分に対応させていただく。

## 雫石町の財政健全化法に基づく各指標

平成19年度決算から公表が義務付けられた財政健全化判断比率が、9月定例会で報告されました。

4つの健全化判断比率により、どのような財政状況を判断します。早期健全化基準や財政再生基準は、それぞれの基準を一つでも超えると財政健全化計画や財政再生計画を定めて取り組むことになります。

### ◇健全化判断比率

本町は、各比率が早期健全化基準を下回っており、良好な状態になっています。

|          | 雫石町    |        | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|--------|--------|---------|--------|
|          | 平成20年度 | 平成21年度 |         |        |
| 実質赤字比率   | －％     | －％     | 14.41％  | 20％    |
| 連結実質赤字比率 | －％     | －％     | 19.41％  | 30％    |
| 実質公債費比率  | 16.8％  | 16.1％  | 25.0％   | 35％    |
| 将来負担比率   | 136.9％ | 130.3％ | 350.0％  | －      |

- **実質赤字比率**…普通会計の赤字の程度をあらわす指標。黒字の場合は表示されない。
- **連結実質赤字比率**…町のすべての会計の赤字の程度をあらわす指標。黒字の場合は表示されない。
- **実質公債費比率**…普通会計の借金返済額と、一般会計から特別会計や一部事務組合などへの補助金などのうち借金返済額に充てた額の合計を指標化したもの。
- **将来負担比率**…普通会計の借入金残高だけでなく、職員の退職給与引当金、特別会計の借入金残高、第三セクターなどの借入金残高に対する一般会計の負担見込額など、将来支払が見込まれる額を指標化したもの。

### ◇資金不足比率

各会計は実質的に資金不足は生じておらず、経営健全化基準を下回っており、良好な状態になっています。

| 特別会計の名称         | 資金不足比率 | 経営健全化基準 |
|-----------------|--------|---------|
| 雫石町下水道事業特別会計    | －％     | 20.0％   |
| 雫石町農業集落排水事業特別会計 | －％     | 20.0％   |
| 雫石町簡易水道事業特別会計   | －％     | 20.0％   |
| 雫石町水道事業会計       | －％     | 20.0％   |

※資金不足比率は、水道、下水道、病院など、公営企業ごとの各年度の経営状況を示す指標で、「各公営企業の資金の不足額」が「各企業の事業の規模（料金収入の規模）」に占める比率を表します。資金の不足額が無い場合は、比率は無しという意味で「－」と表示されます。

平成21年度の一般会計、特別会計および企業会計決算を認定すること  
に対する討論が行われました。その内容をご紹介します。

賛成

前田隆雄議員

厳しい財政状況下の中で、自主財源・依存財源の確保や歳出においても管理経費等の節減に努力されたことが随所に見られ、財政運営の効率、健全化に細心の注意を払った決算である。今後も住民視点に立った町政を積極的に推進し、長期展望に立った財政運営の確立を期すべく、さらなる注意と努力を重ねることを要望し賛成する。

討論

反対

伊藤哲夫議員

町税の不能欠損・収入未済額が多く、調定額に対し収入額が91.96％となっている。要因は長引く不況と深刻な経済危機であり、生活を守る対策を講ずるべきと思う。歳出の一例をあげれば、まちおこしセンターは立派にできたが利用者が少ない。住民生活は本当に苦しく、それを十分考慮し、事業はもっと検討して進めるべきと考え反対する。





質問者／  
おおむらしょうとう  
**大村 昭 東 議員**

## 奥産道路工事の再開は可能か

### 町長／今すぐ整備促進の状況には至っていない

**大村議員** 社会基盤の整備について、雫石東八幡平線（奥産道路）が完成すれば、雫石から八幡平、十和田、八甲田の山岳観光ルートを通じて、下北、津軽方面への観光が可能となり交流人口の拡大が期待できるが、工事再開に向けて方策を考えるべきではないか。

**町長** 雫石東八幡平線は環境面など多くの意見が分かれるところと感じており、八幡平市側と今後あるべき方向について検討を進めていかなければならないが、今すぐ整備促進に結びつくような状況には至っていない。

#### 少子高齢化への対応は

**大村議員** 本町では少子高齢化、人口減少社会に対応した社会基盤の整備、農林業、商工業、観光振興などについて、どのような地域政策を開発し、彩り鮮やかな地域づくりを目指しているのか。

**町長** 現在、平成23年度からの「次期雫石町総合計画基本構想及び前期基本計画」の策定作業を進めているところであり、少子高齢化および人口減少社会を前提に課題を整備し、総合計画の骨となる5つの分野において、基本施策と施策において検討を進めている。

#### 教育環境整備について

**大村議員** 超人口減少社会に対応した子どもたちの教育環境をどのように整備するのか。

**教育委員長** これからの地域づくりの基本となる「次期雫石町総合計画基本構想及び前期基本計画」に基づいて、町長部局と連携しながら子どもたちの教育環境づくりに取り組む。

**大村議員** 全国学力テストで、過去3年間連続で好成績を上げた秋田県など11県は全校参加だが、本町の小学校も全校参加すべきでなかったか。

**教育長** 全国学力テストのほかに、2つの調査を実施しているので、その分析、対応で十分であると判断している。

**大村議員** 学力向上対策委員会を設置している教育委員会があるが、本町教育委員会の取り組みはどうなっているか。

**教育長** 本町では特に設置していないが、それに代わる先生方の教育研究会を立ち上げ、雫石の教育のスタンダードを検討、学力の土台となる学習規律を検討する組織としている。



毎年開催される雫石東八幡平線道路促進協議会総会の様子

質問者／  
上野の三  
三四二  
議員

## 森林「ナラ枯れ」阻止対策は

### 町長／関係者連携し監視体制強化

中学生以上用として町史ダイジェスト版を作成中である。  
**社会教育課長** 雫石よしやれは県の指定リスト（登録前の候補）にお願いしている段階で、調査、検討されて指定が決まることになる。

#### 高齢者福祉と所在不明問題、敬老会の参加を増やす工夫は

**上野議員** 当町の100歳以上高齢者のうち8名の生存不明者がいると聞くと聞くと、ほかに住民管理に不明の事実や居住実態で職権消除<sup>\*</sup>の事例はないか。また、敬老会は敬愛精神のため重要な事業である。参加率を高める工夫をどのように行っているか。

**町長** 100歳以上で生存となっている該当者は存在するが、戸籍の附票がないため住民登録はない。職権消除は、直近では平成18年は13件、同19年は3件あった。

敬老会は小学校区単位で組織した開催実行委員会に委託し、今後も地域の実情に沿った形で開催していただきたいと考えている。



大村地区の敬老会の様子

**上野議員** コナラなど集団枯死（ナラ枯れ）被害は全国的に広がり、隣県の秋田、宮城でも発生している。森林・里山を守る危機管理意識が必要であるが、侵入阻止対策をどのように考えているか。

**町長** 林業関係者と連携し進入被害阻止に取り組む必要がある。早期発見、早期駆除、被害材の移動制限が必要であり、県が定めた「ナラ枯れ被害対策基本方針」に基づき、巡視や監視体制の強化を図る。

#### 雫石固有の伝統文化の発掘と継承は

**上野議員** 本町の文化財の発掘整備が遅れていないか。大学や研究機関に委託調査してはどうか。雫石よしやれは県の無形民俗文化財に値する。なぜ積極的に登録申請に取り組まないのか。また、当町の郷土史を子どもの教育にどう生かされているか。

**町長** これまでの調査結果は、雫石町史などの書籍や映像記録に収録している。今後は、学習資料として整備したい。今後、考古学等が進んで発掘が進めば、必要に応じて専門の調査も進めていきたい。

**教育委員長** 小学3、4年生に社会科の副読本として活用している。高学年は歴史民俗資料館の見学や体験学習などを受けている。また、

<sup>\*</sup>職権消除…引越しなどをしたときに住民票の転入転出の手続きをせず、住民票を置いてある場所に実際にはもう住んでいないことが判明した場合、自治体職員が現地確認の上、住民票を抹消すること。



質問者／  
いしがめ みつぐ  
**石亀 貢 議員**

## 三セク、(株)しずくいしの経営は

### 町長／新事業人員増等で経常損失約1,700万円

**石亀議員** (株)しずくいしの第10期決算で当期損失約1,700万円であるが、経常収支が赤字の場合、抜本的改革を行うべき第三セクターに該当するが、どのように改革され、指導指示されたか。

**町長** 雫石銀河ステーション内に産直、レストランオープンに伴い新事業所、人員増による人件費、水道光熱費が大幅に増加したため、経常損失約1,700万円となり別途積立金を取り崩し損失を補填した。今後、十分採算性を確保することが可能であり、抜本的に改革すべき第三セクターに該当しないものである。

しかし、第10期の経営状況を踏まえ、民間活力手法の導入、効率的な運営で将来の債務拡大のリスクの軽減を図ることが重要と考え点検評価を行っている。

**石亀議員** 今期第一四半期はどう推移しているか。

**町長** 4月から6月までの全体売上は1億9,300万円で対前年比101.7%となっている。経費の圧縮を図り健全な経営がされている。町産業の中核を担う第三セクターの使命にかんがみ、健全経営を指導していく。

#### 人材登録制度について

**石亀議員** 住民あるいは本町出身者には生活の知恵や技術、専門的な経験を有する優れた人材を、得意とする分野を教育委員会に登録、生活文化、教養、学習などの支援体制を整備、教育委員会が仲介を行う施策はどうか。

**教育委員長** 生涯学習社会の住民の多様な学習要求に応えるために、優れた知識や技術を持った地域の人材を募集、登録し、住民の多様な学習を支援するために効果的な制度と考えている。「人材登録制度」を新たに整備、生涯学習の推進に努めたい。



経営の早期健全化が望まれる第三セクター

\*株式会社しずくいし…雫石町が90%出資している第三セクター。道の駅「雫石あねっこ」や銀河ステーション内のレストラン雫、驛田舎産直などを経営している。



質問者／  
伊藤 哲夫 議員  
いとうてつお

## 国保税の滞納状況は

町長／前年度より増加している

### 農業問題について

**伊藤議員** 現在の米価対策では期待できないと、農家は不安になっている。新米も出荷時期となっているが、早場米も下落の状況にあり、本町では米価対策をどのように考えているか。

**町長** 本町の本年産米の仮渡金は9月中旬に決定になる予定であり、あきたこまちでは昨年は60キロ当たり1万2千円であったものが、今年は1千円から2千円程度の減になると予想される。本年度から開始された米の戸別所得補償モデル事業においては、10アール当たり1万5千円の定額部分の交付に加え、販売価格が過去3年の平均販売価格を下回った場合、その差額が補てんされることになるが、米価の下落は今後の補償基準をさらに引き下げることになるため、稲作を中心とする本町の農業経営に大きな影響を与えていると考えている。所得補償予算の確保に加え、米粉を含めた米の消費拡大対策の強化等について農業団体と連携し国に要望していきたい。

**伊藤議員** 国保会計について、滞納者の状況はどのようなになっているか。

**町長** 平成22年5月31日の出納閉鎖時における国保税の滞納者数は489人で、滞納繰越額は1億1,243万円となっている。前年度と比較し22人、1,203万円の減少となった。全被保険者世帯数に対する滞納者世帯数は16.5%を占め、依然として高い割合となっている。

また、平成21年度中に処分する財産が無いことから、生活困窮等の理由により処分を執行停止としたものは119人、3,127万円で、前年度より30人、619万円増加している。不能欠損は126人、2,001万円で、前年度より1人、303万円増加している。その要因は、長引く景気の低迷により納税者の生活が厳しい状況にあるもので、病気や経営不振、失業等により収入が急激に減少し納付が困難になった場合には、早めに納税相談するよう呼びかけている。



米価問題は本町農業にも深刻な影響を及ぼしている



# 奥産道をふたたび考える

雫石東八幡平線は網張温泉と松川温泉を結ぶ道路で、通称「奥産道」として昭和40年に工事着手したが、昭和47年自然保護団体の反対で工事が凍結された。昭和51年県道に認定され、トンネル化により工事が再開されたが、平成8年7月に自然破壊の問題で工事がストップし、県は平成10年11月にあと3.1 kmを残し工事再開を断念した。その後、平成19年6月に未開通部分を登山道として供用し現在に至っている。雫石町と八幡平市は現在も車両による通行を目指し、雫石東八幡平線道路促進協議会を存続させている。

八幡平市長をはじめとする八幡平市産業建設常任委員と雫石町産業建設常任委員で構成される雫石東八幡平線道路促進協議会は、今後の雫石東八幡平線のあり方を検討するため、10月7日から9日にかけて山岳観光の先進地である長野県松本市にある上高地の視察を実施しました。

国立公園に指定されている上高地では、国道158号からのマイカーの全面通行規制や観光バスまで通行規制日を設けるなど、徹底した自然環境保護対策を講じていました。



松本市安曇支所で説明を受ける



上高地の入口にはゲートがあり徹底した規制が行われている

今回の視察では、松本市が自然を守りながら整備を進めている上高地の山岳観光および道路政策等について学び、現代においてはただ単純に道路を開通させるのではなく、いかに自然環境との調和や保護といった部分を十分に考慮しながら取り組みを進めていくかということの重要性を改めて感じました。



上高地から望む絶景の穂高連峰

# 常任委員会●活動報告

調査実施日／平成22年9月1日、9月6日  
調査項目／先進地調査、所管事務調査

## 総務

総務常任委員会（前田隆雄委員長）は、以下の先進地調査、所管事務調査を行いました。

### 1. 9月1日先進地調査

洋野町にある「おおのキャンパス」に赴き、運営方針や景観への配慮、併設されているパークゴルフ場の運営形態について調査しました。

「おおのキャンパス」を運営する（社）大野ふるさと公社は洋野町（当時は大野村）が91.2% 出資し設立した公社で、地域の豊富な資源を活用し、木工製品など特産品の開発、流通の拡充、人材の育成等を図ることにより、地域経済の活性化および住民

の福祉増進に寄与することで発足した。木工芸グループ7名も参加している。平成20年度の総売上は34億4,887万6千円。

「自分たちが作ったものを自分たちで使い、品質の証しとする」という観点で学校給食の器に採用し、マスコミに売り込むなどPRを行った。人集めの施設で3コースのパークゴルフ場を独自整備して町内外に愛好者が増えて、現在11コースとなり昨年は約4万3千名の入場者がありました。

### 2. 9月6日所管事務調査

決算特別委員会に向け平成21年度決算概要、事業経過等について総務課長、経営推進課長、税務出納課長から説明を受け、事務調査を行いました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は、次のとおりです。

#### 1. 自立する町づくりについて

- ・景観配慮した町づくりについて



パークゴルフを実際に体験



おおのキャンパスリーフレットより



調査実施日／平成22年8月31日、9月6日  
調査項目／所管事務調査、請願審査、現地調査

## 教育民生

教育民生常任委員会（石亀貢委員長）は、以下の所管事務調査、請願審査、現地調査を行いました。

### 1. 8月31日所管事務調査

平成21年度決算に関連した事項等について、住民課、福祉課、保健課、環境対策課、健康推進課、雫石診療所、学校教育課、社会教育課に説明を求め、事務調査を行いました。

これらの中で特に話題になった事項は、次のとおりです。

- ・住民登録はなく、戸籍上は生存している高齢者が当町にもいるが、年金の不正受給はない。今後、法務局と協議しながら戸籍の削除を進めていく。
- ・介護保険給付額は、報酬改定に伴う給付増や介護保険制度の理解が深まったことにより利用者が増加し、前年度対比14.5%に伸びた。しかし、第4期介護保険事業計画の平成21年度計画値

に対する実施率は96.2%であった。

- ・地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口となっているほか、いきいき100歳体操など介護予防や健康づくりに取り組んでいる。
- ・平成21年度の国保特別会計には、一般会計から8,300万円（前年度より300万円増）の法定外繰り入れを行っている。
- ・耐震第二次診断の結果、雫石中学校は補強、改築の両面で検討する。

### 2. 9月6日請願審査、現地調査

請願第4号「30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請の請願」の審査を行い、一部採択にすべきものとなりました。

また、請願第5号「私学教育を充実・発展させるための請願」については、公私間格差が依然として縮まっていないことから採択すべきものとなりました。

請願審査後、雫石十景の矢櫃溪流、鶯宿の逢滝・夕滝の他、石仏橋付近の通称「桜松」を視察しました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は、次のとおりです。

1. 教育振興について
2. 福祉の充実について



雫石十景の一つ逢滝を調査

調査実施日／平成22年7月13日、8月31日、  
9月6日

調査項目／所管事務調査、現地調査、請願審査

## 産業建設

産業建設常任委員会（猿子恵久委員長）は、以下の所管事務調査、現地調査、請願審査を行いました。

### 1. 7月13日所管事務調査

町内外の各産直施設の視察、調査を行いました。

- (1)雫石町「戸沢野菜菌茸直売所、ばあちゃんち、男助産直組合」

良質の野菜、山菜、花などをはじめ、「なんでも安く無理をしない販売で継続していく」と町内産直の皆さんの声でした。

- (2)西和賀町「高原ふれあい産直ハウス、里の恵、高原プラザ、道の駅錦秋湖」

わらびなどの山菜のほか、西和賀地方で伝えられている漬物など、加工食品と手工芸品の陳列販売がありました。

- (3)北上市「あぐり夢くちない」

- (4)花巻市「母ちゃんハウスだあすこ」

- (5)盛岡市「ふれあい純情市場さっくら」

各産直とも「自分のところはこれでお客さんを保っている」という特産品を持っているのが特徴でした。



産直の特長を聴く委員

### 2. 8月31日所管課との事務調査

9月定例会に向け、一般会計補正予算、平成21年度決算概要、事業経過等について上下水道課長、産業振興課長、観光推進室長、農業委員会事務局長、地域整備課長から説明を求め、事務調査を行いました。

### 3. 9月6日現地調査

県内五大ダムの一つである御所ダム管理事務所を視察しました。事務所内でダムの概要、目的について説明を受け、ものしり館、操作室、監査廊等の視察を行いました。ダムの外側から想像する以上の印象と業務の重要さを拝見しました。機会があれば皆さんも視察をしてみたいはいかがでしょうか。



御所ダムの管理について説明を受ける

### 4. 9月6日請願審査

請願第6号「過剰米対策に関する請願」の審査を行い、緊急政府買い入れの実施および平成22年産米以降の過剰米の対策を早急に確立することなど、稲作農家が安心して米づくりに取り組める環境を確立することは、農業を基幹産業とする当町にとっても重要な課題であることから、採択すべきものとなりました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は、次のとおりです。

1. 農業・観光の振興策について
2. 特産品の開発について





# 議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



すがわら ひさたか  
菅原 久耕さん  
(61歳・中沼行政区)

## 地域の担い手育成に支援を

わが町は稲作を基幹とし、畜産、園芸とを組み合わせた複合経営が主体であり、岩手山と奥羽山脈に囲まれた「農業と温泉を中心とした観光」の町です。

しかし、農産物価格の低迷、特に米価の下落には落胆をしています。

私たちは、地域の中心的な担い手としての自覚を持ちながら、一生懸命に地域おこしを行ってきました。

今後、後継者を育成しなければ、町の将来も地域の将来もなくなってしまいます。担い手の育成には時間がかかります。人づくりが町の将来に非常に大切なことだと思います。そしてなにより、担い手自身があきらめずに元気である町でなければいけません。町と関係機関による支援と議会の全面的なバックアップ体制をお願いします。



しらき かずひさ  
白木 和久さん  
(56歳・岩持行政区)

## 若者が流失しない町へ

数年前、増田知事時代に岩手県内の高校生に対し、「あなたは将来に期待が持てますか。」という質問に8割以上の方が「期待を持ってない」と答えました。全国平均の約5割と比べると大変残念なことだった記憶しています。

なぜなんだろうと考えたとき、この子たちのニーズが岩手に無いことだと個人的には考えます。

若者のニーズは何なのか。2つに絞って挙げるとすれば、1つは少子化が顕著であること（町のホームページによれば昭和30年の15歳未満の年少人口7,100人に対し平成17年は2,400人と3分の1、65歳以上の老年人口は昭和30年800人に対し平成17年は4,900人と約6倍）。同世代の仲間が少なくなり、また、マスコミ等の影響により盛岡や仙台、東京へとニーズを求め出ていきます。

2つ目は働く場が少ないこと（第三次産業の就業人口において昭和60年に3,146人だったものが平成17年に6,128人と約2倍になっている）。第三次産業（特にサービス産業）の就業人口（希望）が増大し、若年者の養成に応えられる仕事場がないことが考えられます。

若者が定着し、自慢できる故郷「雫石町」を町民の一人として切に願います。



たかはし たくみ  
高橋 巧さん  
(62歳・安庭行政区)

## 町の活性化について

雫石町は素晴らしい環境にあり、稲作を基幹産業とし、畜産や観光に取り組んでいますが、今一つPRが足りない気がします。しかしながら、中には雫石牛としてブランド化されて知名度が上がっているものもあり、一町民として誇りに思います。

わが町も高齢化が進んでいます。健康管理のためには食生活の管理と体を動かすことだと思います。町民は趣味としてどんなスポーツを望んでいるのかアンケートをとってみることも、今後の健康管理に役立つのではないのでしょうか。また、高齢化の中において、私の行政区は団地もあることから若い世帯も増えています。安庭小学校に通う子どもたちも多くなってきているため、通学路の整備もお願いしたいと思います。

議員を削減する意見もありますが、私は今のままで良いと思います。議員は町民の代表であり地区の代表として責任のある立場にいます。議員の皆さんは他市町村の情報収集を行い、良いものは議会で審議していただき、町の活性化に今まで以上に取り組んでいただきたいと思います。



いわ い ひさのり  
在京雫石町友会 会員 岩井久則さん



# 親の教えは常に『原点』へ私を導く

昭和24年に上長山6区に次男として生まれました。通っていた小・中学校の校舎は現在ありませんが、中学校の校歌等は講堂で練習がよくありましたので、今でも覚えています。高校は盛岡までバス、汽車で片道2時間強の通学でした。当時は盛岡をととても遠くに感じたものです。1年間の浪人生活の後、北海道の大学に行くことになりました。家族との別れの日の母親の寂びしそうな、悲しそうな顔が今でも記憶に残っています。当時は連絡船で海を渡っていたので、まさに「海外」へ行くような不安な、そして寂しい気持ちが私の中にもありました。

大学卒業と同時に結婚し、就職しましたが、34歳で本社勤務になるまで、転勤の連続でしたので、家族は見知らぬ土地で本当に大変だったと思います。本社では株式上場準備に携わり、昭和62年に上場させることができ、大変貴重な経験をしました。44才で役員となり、スイスでの転換社債発行や持株会社制度の導入などを手がけ、56才の時、現在の会社の社長に就任しました。会社は売上高65億、

社員600人ですが、日々苦勞の連続です。そのような時は、いつも「人が無駄だと思った事を何度もやれ」「正しい理論は正しい実践を導く」等々の言葉を自分に言い聞かせながら、原点に戻る事にしています。これは私が両親から学んだことです。私の実家は火事で全焼してしまい、高校以前のものは何も残っていません。しかし、親から学んだ物事の考え方は確実に私の中に残っています。

仕事以外では能鑑賞サークル「葵の会」を主催し、例会等で能楽知識の普及に努めています。また、大学同窓会や地域自治会の役員もしていることから、仕事では得られない経験をさせていただいています。

今まで忙しさを理由にあまり故郷にも帰っていませんでしたが、この年齢になって、一番やりたい事といえば、昭和39年に卒業した西山中学校の人達と会って、語り合いたいということです。また、身近に故郷を感じられる雫石町友会の会合にも積極的に参加したいと思っています。



筆者が通った旧西山中学校



旧西山中学校の修学旅行にて

岩井久則さんプロフィール

昭和24年1月16日生まれ。61才。家族：妻、子供3人。

上長山小学校—西山中学校—盛岡第四高校—北海学園大学法学部。

(株)銀座山形屋取締役管理本部長、(株)リベラル代表取締役社長、東京ニット商業卸組合常任理事、東京アパレル健保理事、ほか国内1社、海外2社取締役兼務。

# 雫石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん



夫龍さん、長男悠翔くんと一緒に

ご縁があり、他の市町村から嫁いできた「お嫁さん」または、選ばれてきた「お婿さん」が登場します。

しのむら しほ  
篠村 志帆さん（21歳 盛岡市出身）

（旧姓：菊池）（篠崎行政区在住）

Q-お二人の馴れ初めは？

-高校時代に知り合いました。

Q-雫石町に住む前のイメージと暮らしてみでの感想は？

-雫石町には何度か来たことがありましたが、小岩井農場くらいしか知りませんでした。暮らしてみると自然がたくさんあり、皆さん優しいですね。あと、虫がたくさんいて魅力的です。

Q-町に望むことは？

-もっと子どもと一緒に遊べる場所が欲しいです。そして、大型ショッピングセンターなんてあったら最高ですね!!

Q-今後のお子さんの予定は？

-長男が7か月になりましたが、今のところはまだなしです♡

## 議会の主な動き 9～10月

- 9月
- 1日 総務常任委員会
  - 3～14日 9月定例会
  - 議会広報特別委員会（第1回）
  - 5日 雫石町総合防災訓練
  - 22日 雫石商工会50周年記念式典
  - 24日 二宮金次郎像再建に係る除幕式
  - 28日 県町村議会議長会第2回政務調査会
  - 29日 郡町村議会議長会中央実行運動

- 10月
- 5日 議会広報編集委員会視察研修（金ヶ崎町）
  - 7～9日 雫石東八幡平線道路促進協議会先進地視察（長野県松本市）
  - 8日 議会広報編集委員会（第2回）
  - 9日 スポーツレクリエーション健康祭
  - 15日 政務調査会
  - 18日 議会広報編集委員会（第3回）
  - 26日 議会広報視察来町（長野県軽井沢町議会）
  - 28日 町村議会議員シンポジウム

### お詫びと訂正のお知らせ

しずくしい議会だより74号の一般質問コーナーにおいて大村議員の質問内容の掲載に誤りがありました。

関係各位様には大変ご迷惑をおかけしました。ここに訂正しお詫び申し上げます。

○正しくは 委託料346万5千円

×誤り 委託料3,451万1千円

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】  
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（7月～9月）】

| 月             | 葬祭費        | お祝い、会費       |
|---------------|------------|--------------|
| 7             | 0件         | 5件 20,000円   |
| 8             | 0件         | 1件 5,000円    |
| 9             | 0件         | 3件 15,000円   |
| 小計            | 0件         | 9件 40,000円   |
| 累計<br>(1月～9月) | 2件 30,000円 | 24件 150,500円 |

### ■編集デスク

昨今、首長と地方議会との対立等の報道が注目されています。このようなことの原因は、平成12年4月に地方分権一括法が施行されて以降、国の縛りが弱まり地方の自立が進んだためであると識者は述べています。

政権交代後も政府は、国から地方に権限と財源を移して、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにする地域主権改革を進めるとしています。

こうした中で、地方議会にも厳しい視線が向けられ「議会の役割とは何か」が問われています。「しずくしい議会だより」は、議会活動の内容を町民の皆様にお知らせする唯一の広報紙です。簡潔で分かりやすい編集に努めていますので、ご一読いただければ幸いです。

（編集委員 杉澤敏明）

●今号の表紙／本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。笑顔が絶えないまちの元気な子供たちの様子を紹介。今回は、「雫石保育園」に通う園児たちの笑顔です。